

2 市民意見募集の集計・分析方法

(1) 意見の分類、類型化

意見を分析するため、市民の皆様からいただいた意見を次の方法で分類、類型化しました。

- ・意見をアフターコーディング^{※1}の手法により、「再開発のイメージ」、「導入機能」及びそれらの意見の背景にある「理由」に分類。
- ・定量的な分析が行えるよう、分類した意見を内容に応じて次のとおり類型化。

分類項目	類型化
「再開発のイメージ」	海・みなと / 観光 / 景観 / 国際性 / 市民のための再開発 / 先進性 / 賑わい・楽しさ / 緑・憩い / 歴史・文化・芸術性 / その他 ⇒これらのテーマごとに各再開発のイメージに類型化
「導入機能」	MICE 機能 / エンターテインメント機能 / ショッピング機能 / スポーツ機能 / 企業・大学・研究開発 / 教育機能 / 交通機能 / 公園・広場 / 港湾機能 / 宿泊機能 / 水辺・親水機能 / 文化・芸術機能 / その他 ⇒これらのテーマごとに各導入機能に類型化
「理由」	カーボンニュートラルに取り組む / 横浜が活性化する / 横浜に住む人を増やす / 環境へ配慮する / 雇用を生む / 採算を考慮する / 災害に対応できる / 周辺地域と連携する / 将来を見据えたまちづくり / 人が訪れる / 生物多様性に配慮する / 市の収益の向上 / 都市ブランドの向上 / 利便性が向上する / 立地特性を活かす

※1 アフターコーディングとは

自由意見に対して類似の意見を少数のカテゴリーに振り分ける手法。定性的な情報を定量的に分析することが可能となる。

(2) 集計・分析

意見については、その具体的内容の傾向を把握するため、以下の分析を行いました。

ア 全体の傾向の把握

- ・意見を一文ずつに分け、テキストマイニング^{※2}の手法により、出現頻度の高い単語の抽出・集計し、ワードクラウド等により集計結果を可視化

※2 テキストマイニングとは

文章を単語で区切り、それらの出現の頻度、相関などを解析することで有用な情報を、明確化する分析方法。

イ 再開発のイメージ、導入機能、理由に関する分析

- ・(1)で類型化した内容を集計し、ツリーマップ等により集計結果を可視化

ウ 再開発のイメージ及び導入機能と理由の関係性に関する分析

- ・(1)の分類間の関係性を平行座標プロット^{※3}により可視化

※3 平行座標プロットとは

各分類軸（理由、再開発のイメージ、導入機能）を縦軸に平行で並べ、1つの回答につき、1つの線でその関係性を表現するグラフの表示方法。